

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）

運動失調症の医療水準，患者 QOL の向上に資する研究班

2020 年度 研究報告会プログラム・抄録集

日時： 2021 年 1 月 7 日（木） 14：00～18：30

2021 年 1 月 8 日（金） 9：00～12：20

開催方法： WEB 会議（ZOOM 会議）

研究代表者 小野寺 理

事務局 〒951-8585

新潟県新潟市中央区旭町通 1 番町 757

新潟大学脳研究所脳神経内科

TEL 025-227-0666 FAX 025-223-6646

今野卓哉 e-mail：konno_t@bri.niigata-u.ac.jp

小林加恵 e-mail：neuro.secre@bri.niigata-u.ac.jp

1日目：令和3年1月7日（木） 14時00分～18時30分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
14:00	来賓 挨拶	厚生労働省健康局難病対策課 補佐	湯浅 貴博 様	
14:10	来賓 挨拶	国立保健医療科学院 研究事業推進官 制作技術評価研究部 上席主任研究官	武村 真治 様	
14:20	本研究班の達成目標	研究代表者	新潟大学脳研究所脳神経内科	小野寺 理
14:30	告知	「ランゲルハンス細胞組織球症に伴う中枢神経変性症（LCH-ND）の調査依頼」 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 坂本 謙一		

I. 自然歴					座長：戸田 達史				
14:45	1-1	矢部 一郎	脊髄小脳失調症1型の自然歴に関する研究	白井 慎一					
15:00	1-2	石川 欽也	脊髄小脳失調症6型（SCA6）・同31型（SCA31）の自然歴解析	石川 欽也					
15:15	1-3	小野寺 理	DRPLAとMJD, SCA6の発症年齢とCAGリピート数の分布の比較	畠野 雄也					
15:30	1-4	佐々木 征行	小児期発症DRPLAの自然歴	佐々木 征行					
II. 疫学					座長：石川 欽也				
15:45	1-5	青木 正志	家族性脊髄小脳変性症の遺伝子解析（宮城県における現状）	割田 仁					
16:00	1-6	花島 律子	鳥取県における純粋小脳型脊髄小脳変性症の臨床的特徴	清水 崇宏					
16:15	1-7	和泉 唯信	徳島県における脊髄小脳変性症の実態調査	宮本 亮介					
16:30	1-8	高嶋 博	FXTASおよびSCA17の臨床遺伝学的検討	樋口 雄二郎					
III. 多系統萎縮症					座長：青木 正志				
16:45	1-9	矢部 一郎	多系統萎縮症の地域レジストリ研究HoRC-MSA: 2014-2020	松島 理明					
17:00	1-10	小野寺 理	多系統萎縮症の発症年齢の検討	荻根沢 真也					
17:15	1-11	渡辺 宏久	多系統萎縮症の早期診断と突然死の予測システム開発	渡辺 宏久					
17:30	1-12	桑原 聡	中小脳脚sT1w/T2w ratioはMSA-Cにおける早期変化を検出しよう	杉山 淳比古					
17:45	1-13	二村 直伸	気管切開施行後及び人工呼吸器装着後の多系統萎縮症患者の長期予後	坂下 建人					
18:00-18:30 「運動失調症の医療水準、患者QOLの向上に資する研究班」 研究者会議 全国SCD・MSA友の会 挨拶									

2日目：令和3年1月8日（金） 9時00分～12時20分

時間	演題番号	研究者氏名	演題名	発表者
IV. レジストリ		座長：桑原 聡		
9:00	2-1	金谷 泰宏	特定疾患治療研究事業により登録された運動失調症の症例解析について	金谷 泰宏
9:15	2-2	高橋 祐二	運動失調症の患者レジストリJ-CATの現状と活用	高橋 祐二
9:30	2-3	吉田 邦広	特発性小脳失調症の診断基準における発症年齢に関する考察－J-CAT登録例における30歳未満で発症した孤発例の臨床的検討－	吉田 邦広
9:45	2-4	瀧山 嘉久	遺伝性痙性対麻痺の全国調査JASPAC: Japan Spastic Paraplegia Research Consortium	高 紀信
V. 運動失調評価法・リハビリテーション		座長：瀧山 嘉久		
10:00	2-5	池田 佳生	VR空間で計測可能な上肢運動失調評価システムの開発	佐藤 正行
10:15	2-6	勝野 雅央	新規デバイスを用いた上肢運動機能解析による運動失調の定量的評価	岸本 祥之
10:30	2-7	田中 章景	脊髄小脳変性症における構音動態の検討	東山 雄一
10:45	2-8	宮井 一郎	脊髄小脳変性症に対する短期集中リハビリテーションプログラムの調査	平松 佑一
VI. 病態・治療		座長：勝野 雅央		
11:00	2-9	戸田 達史	Association of RFC1 intronic repeat expansion motifs with clinical presentations of CANVAS	アルマンズール アセム
11:15	2-10	丸山 博文	SCA42の病因である変異型T型カルシウムチャネルCav3.1の電位依存性の変化に対するゾニサミドの効果の電気生理学的検討	森野 豊之
11:30	2-11	高尾 昌樹	皮質基底核症候群を呈したヘモジデリン沈着症剖検例の臨床病理学的検討	初田 裕幸
11:45	2-12	下畑 享良	特発性小脳失調症における自己免疫病態の解明と治療へのアプローチ	吉倉 延亮
12:00-12:20	総合討論 今後について 新潟大学脳研究所脳神経内科 小野寺 理			